かけはし

令和５年８・９月号
高松市立
男木小・中学校

男木島に人を増やしたい！

「男木島に人を増やしたい」という願いは、学校や島全体の課題です。

子どもたちは、主に総合的な学習の時間に、男木島の魅力 PR のため、9月のさぬきマルシェ出店に向けての準備を進めています。夏休み中にも、コミュニティセンターでの桃シロップ作りや PTA 会長さんの畑でのレモングラス収穫などを行いました。

地域では、男木島生活研究所による学校の校庭でのキャンプを計画していました。また、I 学期には、「男木島、未来の教育プロジェクト」の協力も得て、9名の学校見学や体験入学がありました。子どもたち、学校、保護者、地域がそれぞれに課題解決のためにできることをしていくことによる手応えを徐々に感じています。 校長　井村新一

＜収穫したレモングラス＞

＜ゼリー作り　体験入学＞

月中行事(9月)

1（金）　2学期始業式、給食開始
6（水）　高橋匡太さんによるワークショップ
7（木）　非行防止教室、クラブ活動⑥
11（月）　諸費集金日、SC来校
12（火）　学校図書館指導員来校
13（水）　子ども未来館学習（4年）
　　中学生　職場体験学習　～15日
17（日）　さぬきマルシェ（サンポート高松）
19（火）　中央図書館読み聞かせ
20（水）　スポGOMI 2023
21（木）　中間テスト発表
　　スクールソーシャルワーカー来校
25（月）　SC来校
26（火）　修学旅行（小6）　～27日まで
　　学校図書館指導員来校
28（木）　中間テスト1日目
30（金）　中間テスト2日目
　　音楽鑑賞会④、ALT来校

今月のコラム

宮崎駿監督の最新作「君たちはどう生きるか」が記録的なヒットを続けていますが、彼が実は面倒くさがりだということは知っていましたか？

彼はあるテレビの取材で、「仕事は面倒くさい」「まことに面倒くさい」「究極に面倒くさい」と面倒くさいを連呼しています。意外ですよね？

しかし、その真意は彼ならではのものでした。

「面倒くさくないとこで生きてると、
　　面倒くさいがうらやましく思う」
「世の中の大事な事はたいてい面倒くさい」

この付け加えられた言葉から何を感じましたか？

「君たちはどう生きるか」このタイトルは、宮崎監督からのメッセージかもしれませんね。面倒くさいに打ち勝ち素敵な9月をお過ごしください。

手伝い会社OGI活動中

子ども達が男木島のために設立した、手伝い会社 OGI の活動をここでご紹介します。

草刈りの依頼が受け、会社のみんなでお手伝いしました。暑さにも負けず頑張りました。

男木産びわのシロップジュースを地域のみなさんに配って歩きました。たくさんの人とお話できました。

桃シロップを作っています。

9 月 17 日（日）のさぬきマルシェに男木小・中学校で出店する予定です。よかったら来てくださいね。

七夕集会

7 月 7 日（金）、七夕集会をしました。子ども達は短冊にそれぞれの願いを書いて笹に飾りました。

今年は、小中学生が保育所の子どもたちのために出店を企画しました。輪投げ、魚釣り、風船バレーなど子ども達が一生懸命に考え準備しました。とても楽しい集会となりました。

水泳発表会・着衣水泳

7 月 11 日（火）、水泳発表会・着衣水泳を行いました。水泳発表会では、練習の成果を発揮してベストの泳ぎを見せてくれました。

着衣水泳では、溺れたときの対応方法、浮いて救助を待つ練習や背浮きの練習、またライフジャケット体験などをしました。救助者は左の写真のように、水には入らず、棒などの長いものを使って救助する、ということも練習しました。